

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	1	テーマ	大学拡充計画の推進
責任者	水谷 史生	分担者	山口 えり子
中期計画項目	1.新専攻分野の設置・収容定員の増加・大学院新分野の設置。		
本年度計画内容	①大学院サテライトの検討を行う。		
年度末到達目標	上級医療情報技師養成を目的とした大学院サテライトキャンパス（名古屋）を平成 28 年 9 月に開設する。		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月			
9 月			
10 月	指導教員の確保 ・現況確認、今後の進め方、上級医療情報技師養成課程のニーズ調査の方法検討、受験対象者などについての打合せ		
11 月	・日本医療情報学会主催の連合大会で、本大学院の概要を発表。学生確保に繋げる。 ・非常勤講師予定者と科目内容についての検討、決定		
12 月	・開講場所の検討		
1 月	受験者確保のための、病院・企業訪問。		
2 月			
3 月	平成 28 年 9 月の開設に向けて引き続き準備を進める。		

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

1

重点分野番号	1	テーマ	大学拡充計画の推進
責任者	水谷 史生	分担者	山口 えり子
中期計画項目	1.新専攻分野の設置・収容定員の増加・大学院新分野の設置。		
本年度計画内容	②作業療法士養成課程設置を検討する。		
年度末到達目標	作業療法士養成課程設置に向けて、教員の確保、実習室の確保等、計画を固める。		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月			
9 月			
10 月			
11 月			
12 月			
1 月			
2 月			
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	1	テーマ	大学拡充計画の推進
責任者	水谷 史生	分担者	山口 えり子
中期計画項目	1.新専攻分野の設置・収容定員の増加・大学院新分野の設置。		
本年度計画内容	③看護学分野の大学院修士課程設置の検討を行う。		
年度末到達目標	看護学分野の大学院修士課程設置に向けて、準備を進める。		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月			
9 月			
10 月			
11 月	看護学分野の大学院修士課程の設置に向けて、準備を進める。		
12 月			
1 月			
2 月			
3 月	・看護学科、事務局と看護学分野の大学院修士課程設置についての検討会議 ・看護学分野の大学院修士課程設置に向けて、引き続き検討・準備を進める。		

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

1

重点分野番号	1	テーマ	大学拡充計画の推進
責任者	水谷 史生	分担者	山口 えり子
中期計画項目	1.新専攻分野の設置・収容定員の増加・大学院新分野の設置。		
本年度計画内容	④大学院医療科学研究科に臨床心理学分野設置・相談室開設に向けての検討		
年度末到達目標	大学院医療科学研究科臨床心理学分野設置及び附属臨床心理相談室開設に向けての検討		
月別	実施予定の内容		
6 月	・ 第 1 回臨床心理士第 1 種大学院設置検討会議		
7 月	・ 第 2 回臨床心理士第 1 種大学院設置検討会議		
8 月			
9 月	「公認心理師法」 公布	大学院医療科学研究科臨床心理学分野設置及び附属臨床心理 相談室開設に向けて、場所の確保、人材確保等の検討 大学院医療科学研究科臨床心理学分野のカリキュラムの検討 等準備を進める。	
10 月			
11 月		・「公認心理師法」の公布に伴う大学院開設の検討	
12 月			
1 月		・ 心理相談室等の設置場所、部屋数、面積などの確認、検討	
2 月			
3 月		・ 大学院医療科学研究科に臨床心理学分野設置・相談室開設 に向けて検討・申請準備を進める。	

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

重点分野番号	1	テーマ	大学拡充計画の推進	
責任者	水谷 史生		分担者	山口 えり子
中期計画項目	2. 施設の改修及び教育環境などの改善			
本年度計画内容	①以下の改善個所を改善する為の「実施日」「実施内容」を検討する。			
年度末到達目標	改善個所の改善完了			
月別	実施予定の内容			
事業名	学生食堂改修	A講義棟トイレ設備改修	実験実習棟エレベータ更新	
実施内容	食堂・学生ホールの内装リニューアル。照明器具の LED 化及び什器の更改	1・2 階男・女共トイレの全面リニューアル	エレベーター（カゴ）更新。新安全基準に沿ったリニューアルを実施	
6 月		7 月 1 日 着工	5 月 19 日 着工	
7 月				
8 月	8 月 9 日 着工		8 月 19 日 竣工	
9 月	9 月 10 日 竣工	9 月 10 日 竣工		
10 月	完結	完結	完結	
11 月				
12 月				
1 月				
2 月				
3 月				

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

1

重点分野番号	1	テーマ	大学拡充計画の推進	
責任者	水谷 史生		分担者	山口 えり子
中期計画項目	2. 施設の改修及び教育環境などの改善			
本年度計画内容	①以下の改善個所を改善する為の「実施日」「実施内容」を検討する。			
年度末到達目標	改善個所の改善完了			
月別	実施予定の内容			
事業名	研究厚生棟空調設備改修	火災報知機入替	学内バリアフリー化の推進	
実施内容	食堂及び研究室の一部（系統）及び空調設備の各機器の更新を実施	千代崎キャンパス内の防災設備（自動火災報知機設備）更新。構内配線更新も含む	研究厚生棟1F身障者用トイレ一部改修（ウォシュレット及び呼び出しベルの設置、扉の調整等）A講義棟の一部段差改修（スロープの設置）を平成26年度に実施した。今年度も継続し追加及び改修整備の調整を行う。	
6月	↕ 3月25日 着工			
7月	6月15日 竣工	↑ 7月6日 着工		
8月	完結	↕		
9月		9月29日 竣工		
10月		完結	千代崎キャンパス研究厚生棟に自動扉設置、白子キャンパス3～5号館に自動扉設置及び不陸調整他	
11月				
12月				
1月			↑ 1月12日 着工	
2月			↕	
3月			3月18日 竣工	

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

重点分野番号	1	テーマ	大学拡充計画の推進	
責任者	水谷 史生		分担者	山口 えり子
中期計画項目	2. 施設の改修及び教育環境などの改善			
本年度計画内容	①以下の改善個所を改善する為の「実施日」「実施内容」を検討する。			
年度末到達目標	改善個所の改善完了			
月別	実施予定の内容			
事業名	白子キャンパス 1 号館・講堂 空調熱源整備改修	底力教育推進センターの設備充 実	X線テレビシステムの整備	
実施内容	熱源（蒸気ボイラー→ガス式 空冷チラー）更改	医療人育成のため の「底力」教 育の取り組みも 2 年目を迎え必 要な設備の調整 を行う	放射線技術科学科の教育装置 整備	
6 月	↕ 3月 25 日 着工		↕	3月 31 日 着工
7 月	6月 30 日 竣工			6月 30 日 竣工
8 月	完結	↓ 10 月：教員指導用 パソコン(タブレッ ト型) 20 台購入	完結	
9 月				
10 月				
11 月				
12 月				
1 月		↓		
2 月			完結	
3 月				

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

1

重点分野番号	1	テーマ	大学拡充計画の推進	
責任者	水谷 史生		分担者	山口 えり子
中期計画項目	2. 施設の改修及び教育環境などの改善			
本年度計画内容	①以下の改善個所を改善する為の「実施日」「実施内容」を検討する。			
年度末到達目標	改善個所の改善完了			
月別	実施予定の内容			
事業名	白子キャンパス多目的広場の有効活用		多目的広場の整備及びフィットネスルームを卓球ルームとして整備拡張して白子キャンパスでの体育授業を開始	
実施内容	体育の授業及びスポーツ振興を図る他、学生が絆を深めるための広場		看護学部及び薬学部の体育授業の実施（屋外・屋内）	
6 月	↕ 2 月 1 日 着工		↕ 1 月 30 日 着工	
7 月	3 月 31 日 竣工		3 月 16 日 竣工	
8 月	4 月より薬学部及び看護学部の体育授業を開始した。多目的広場にサッカーゴール、ソフトボール用ゲージネット、道具庫等を設置した。		4 月より薬学部及び看護学部の体育授業を開始した。晴天時は多目的広場、雨天時には卓球ルームにて授業を実施する。	
9 月				
10 月				
11 月				
12 月				
1 月	完結		完結	
2 月				
3 月				

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	1	テーマ	大学拡充計画の推進
責任者	水谷 史生	分担者	山口 えり子
中期計画項目	2. 施設の改修及び教育環境などの改善		
本年度計画内容	②今後の教育環境改善に必要な施設設備について調査する。		
年度末到達目標	各学科、研究科等の調査を完了する。		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月	各学科長、研究科長等へ今後の教育環境改善に必要な施設整備の調査を依頼する。		
8 月			
9 月	9 月 24 日；学部長・学科長・研究科長・課長へメールにて依頼済（報告期限；12 月 24 日）		
10 月			
11 月			
12 月			
1 月	28 年度予算編成に当たり、各学科長、研究科長等より必要な施設設備について聴取する。		
2 月			
3 月	今後の教育環境改善に必要な施設設備についての調査を完了する。 調査完了⇒次年度計画作成		

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

1

重点分野番号	1	テーマ	大学拡充計画の推進
責任者	水谷 史生	分担者	教務委員会、教務課、医療福祉学科、医療栄養学科 理学療法学科、看護学科
中期計画項目	3. 関連福祉施設と附属医療施設		
本年度計画内容	① サムス会が運営する福祉施設について効果的な実践教育の場として機能するよう施設側との協働の下、教育計画を立案。(H29 年 10 月から)		
年度末到達目標	サムス会が運営する福祉施設について効果的な実践教育の場として機能するよう施設側との協働の下、教育計画を検討する。		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月			
9 月			
10 月			
11 月			
12 月			
1 月			
2 月			
3 月	次年度計画作成		

各学科において、特別養護老人ホーム「桜の森白子ホーム」を
臨地実習等の効果的な実践教育の場として利用することを検討する。

・ロボケアセンター（HAL）については切り離す（次頁に記載有り）

10 月に「桜の森白子ホーム」開所したが、施設での臨床実習は、施設運営が軌道に乗る 28 年度後期以降とする。対象学科長と施設長との間で具体的に詰める。

（対象；医療福祉、医療栄養、理学療法、看護学科、鍼灸学科ほか）

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	1	テーマ	大学拡充計画の推進	
責任者	水谷 史生		分担者	畠中 泰彦
中期計画項目	3. 関連福祉施設と附属医療施設			
本年度計画内容	① 鈴鹿ロボケアセンターと協業し、ロボットリハビリテーションの実践教育の場を機能させる。			
年度末到達目標	3 年生を対象とした科目「ロボットリハビリテーション」を開設し、操作資格（サイバーダイン社指定の安全講習）を取得させる。			
月別	実施予定の内容			
6 月	鈴鹿ロボケアセンターとの打ち合わせ 責任者(理学療法学科長 畠中泰彦) (中俣孝昭, 多田智美, 齋藤恒一, 山口和輝)			
7 月	鈴鹿ロボケアセンターとの打ち合わせ			
8 月	鈴鹿ロボケアセンターとの打ち合わせ			
9 月	鈴鹿ロボケアセンターとの打ち合わせ			
10 月	山口先生；サイバーダイン社のインストラクター資格取得中 HALには福祉用、単関節、医療用とあるが、単関節の資格は取得済、福祉用資格が取得出来次第、講義開始する予定。			
11 月	福祉用のインストラクター資格を 12 月までに取得する			
12 月	山口先生；福祉用 HAL インストラクター資格取得			
1 月	1 月 9 日（土）集中講義 + 実習・レポートで年度内に終了認定証授与。 47 名学生受講 (単関節の終了認定証は発行していない為、福祉用のみの受講となった)			
2 月				
3 月	次年度計画作成			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	2	テーマ	大学広報の強化
責任者	長村 洋一	分担者	小山 尚樹
中期計画項目	1-1-①③④⑤ 広報活動の強化		
本年度計画内容	① 効果的な広報戦略の立案・実行 ③ 受験生ニーズ・志向調査分析 ④高等学校との連携強化 ⑤ 関連職能団体との連携による広報活動の検討		
年度末到達目標	上記内容の実施		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月	①各区分別広報展開(学科・コース、地域、入試区分、高校レベル) ①在学生を広報活動イベントに活用		
8 月	①スマホサイト・SNS 導入検討 ④高等学校主催ガイダンス・大学説明会参加 高等学校教員向け大学見学会		
9 月	③受験生ニーズ・志向の調査分析		
10 月	④高等学校との連携強化		
11 月	⑤関連職能団体との連携による広報活動の検討 ①春のミニ・オープンキャンパスで活用準備中		
12 月	④高等学校教員向け大学見学会は、5月中旬実施で調整中		
1 月	①、③、④については継続実施中 ⑤については、日本放射線技師会広報誌への学生募集広告掲載（大学院）		
2 月			
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	2	テーマ	大学広報の強化	
責任者	長村 洋一		分担者	自己点検・評価推進 WG 矢田 智樹
中期計画項目	広報活動の強化 1-1-②			
本年度計画内容	■大学ポートレートへの継続的参画 ■大学運営の現状に関する情報公開の充実			
年度末到達目標	■大学ポートレートへの継続的参画 ■大学運営の現状に関する情報公開の充実			
月別	実施予定の内容			
6 月	↓ ↓ 下旬 大学 HP における情報の更新			
7 月	↓ 下旬「大学ポートレート内容」の一斉更新（年 1 回） ↓			
8 月	↓			
9 月	↓			
10 月	↓			
11 月	↓ 6 月下旬以降は 随時更新			
12 月	↓			
1 月	↓			
2 月	↓			
3 月	↓			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

2

重点分野番号	2	テーマ	大学広報の強化と入学者受入れの改善	
責任者	長村 洋一		分担者	山口 えり子
中期計画項目	広報活動の強化 1・1・⑥			
本年度計画内容	■大学ブランド力のアップのため、テレビ・新聞等のマスメディアを利用し、各学科の教育、研究、地域貢献活動等の内容を積極的に発信 ■ホームページの整備・充実、英語版ホームページの構築			
年度末到達目標	■大学ブランド力のアップのため、テレビ・新聞等のマスメディアを利用し、各学科の教育、研究、地域貢献活動等の内容を積極的に発信 ■ホームページの整備・充実、英語版ホームページの構築			
月別	実施予定の内容			
6 月	・入学課と検討・調整し、受験生用（入試情報、オープンキャンパス）ページ作成			
7 月				
8 月	・ SNS の導入検討 ・ オープンキャンパスページ完成			
9 月	・積極的なプレスリリース			
10 月	・ FM みえキャンパスキューブへの協賛（学生のラジオ出演）			
11 月	・三重テレビ CM 放映 高校野球、特別番組企画 「芭蕉が詠む 祈りのところ」への協賛			
12 月	・新春スポット CM (1 月)			
1 月	・第 2 回伊勢志摩サミットフォーラム 特別番組への協賛			
2 月	・英語サイト翻訳 (2015 年 6 月～ 2016 年 2 月) ・英語サイト制作 (2 月～4 月)			
3 月	・医療人底力教育サイト 制作（6～1 月） 2016 年 1 月公開済み ・新聞社などへの広告掲載 ・入学課と検討・調整し、 入試サイト 制作 (10 月～ 4 月)			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	2	テーマ	大学広報の強化
責任者	長村 洋一	分担者	小山 尚樹
中期計画項目	1・2・①～③ 入試制度の改革・改善		
本年度計画内容	入学者選抜方法を以下の観点で検証・改革改善する。 ①アドミSSION・ポリシー②入試結果・入学者状況③高等学校状況・高大接続改革 実行プラン		
年度末到達目標	上記内容の実施（改革改善案を次年度入試において反映させることを到達目標とする）		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月	アドミSSIONポリシーに沿った入学者選抜の運用・検証		
8 月	学科ごとの入学者選抜方法を検討 ・試験区分ごとの入試結果分析 ・試験区分ごとの入学者追跡調査 ・併願(競合)大学の入学選抜方法調査		
9 月			
10 月	高等学校との情報交換		
11 月			
12 月	「高大接続改革実行プラン」に沿った入学者選抜方法の検討		
1 月	継続実施中。3 月末の平成 29 年度入試要項に具体的改善案を反映させるように準備を進めている。なお、現在、各学部・学科へのヒアリングを開始している。		
2 月			
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	3	テーマ	教育内容の充実
責任者	鎮西 康雄	分担者	藤原 正範、岩島 誠、山路 由美子、松永 ひとみ
中期計画項目	1. 教育内容の充実と教育方法・教授方法の改善		
本年度計画内容	① 底力教育の充実に向けた授業方法・授業内容の検討（底力教育推進センター）		
年度末到達目標	① -1 学生の授業評価に基づく医療人底力教育の教育内容・実施方法の検討 ① -2 「医療人底力実践（展開）」の実施方法と課題の作成など内容の準備。 ① -3 「医療人底力実践（応用）」の実施企画案 ① -4 「チーム医療Ⅱ」実施準備の完了 ① -5 「医療人底力実践（基礎Ⅰ）」学科別プログラムの改善及びその実施準備の完了 ① -6 「キャリアプランニング」クラス編成と実施準備の完了		
月別	実施予定の内容		
6 月	・「医療人底力実践（基礎Ⅰ）」学科別プログラムの実施状況調査①-5 ・「チーム医療Ⅱ」の実施内容の検討①-4 ・「キャリアプランニング」クラス編成の選抜学生の推薦依頼（教務委員会 6.30）①-6		
7 月	・底力教育の教育内容・実施方法の検討（教育改革・改善推進委員会 7.16）（底力教育構想会議 7.23）①-1 ・現行カリキュラム見直しの検討（底力教育構想会議 7.23）①-1 ・「医療人底力実践」（展開）（応用）の実施内容（底力教育構想会議 7.23）①-2.3 ・チーム医療教育部会の正式発足（各学科委員の選任）、チーム医療教育の体系検討①-2.3 ・チーム医療・多職種連携の講演と討論の会（チーム医療教育部会 7.27）①-2.3		
8 月	・学生意識調査実施（前期末）（底力教育推進センター）①-1 ・社会体験、ボランティア活動の推進（底力教育推進センター）①-1		
9 月	・「チーム医療Ⅱ」の位置づけと実施内容の検討（教育改革・改善推進委員会・底力教育構想会議・教務委員会）①-4 ・医療人底力教育のカリキュラム見直しの検討（底力教育推進センター会議）①-1 ・チーム医療教育部会を独立させ、多職種連携教育推進委員会へ改称発足①-2.3 ・「医療人底力実践（展開）」の実施要領策定（チーム医療教育部会）①-2		
10 月	・平成 28 年度授業担当者の学部講師依頼（底力教育推進センター）①-1 ・平成 28 年度「医療人底力実践（基礎Ⅰ）」学科別プログラムの検討（各学科）①-5 ・「医療人底力実践（展開）」の実施具体案と課題（プログラム）の検討（多職種連携教育推進委員会）①-2		
11 月	・平成 28 年度「医療人底力実践（基礎Ⅰ・Ⅱ）」のクラス編成とリーダー及びチューター選出に関して学科へ依頼（底力教育推進センター・教務委員会）①-1		
12 月	・三重 IPE（多職種連携）の実施（会場校）（12.20）（多職種連携教育推進委員会）①-2.3 ・アカデミックフェアの実施（12.24）（底力教育推進センター）①-1 ・多職種連携教育のための国際医療福祉大視察（多職種連携教育推進委員会）①-2.3		
1 月	・学生意識調査実施（後期末）（底力教育推進センター）①-1 ・底力実践（展開）のシラバスの検討と課題（プログラム）（多職種連携教育推進委員会）①-2		
2 月	・平成 27 年度「医療人底力実践（基礎Ⅰ・Ⅱ）」教育実施に向けたリーダー及びチューターの反省会実施（2016.2.22）（底力教育推進センター）①-1		

	・平成 28 年度「医療人底力実践（基礎Ⅰ・Ⅱ）」教育実施に向けたリーダー及びチューターの確定（教務委員会）①-1 ・平成 28 年度底力実践（展開）のシラバス作成と学生指導要領（多職種連携教育推進委員会）①-2
3 月	・平成 28 年度「医療人底力実践（基礎Ⅰ・Ⅱ）」教育実施に向けたリーダー及びチューターへの辞令式及び研修会実施(2016.3.14)（底力教育推進センター）①-1 ・平成 28 年度「医療人底力実践（基礎Ⅰ・Ⅱ）」クラス編成決定（学生・教職員）（底力教育推進センター）①-1

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	3	テーマ	教育内容の充実
責任者	鎮西 康雄	分担者	藤原 正範、岩島 誠、松永 ひとみ
中期計画項目	1. 教育内容の充実と教育方法・教授方法の改善		
本年度計画内容	②基礎教養教育のあり方と教育内容の検討（教育改革・改善推進委員会） ③専門教育改革（各学科、教務委員会、教育改革・改善推進委員会） ④教授方法の改善（FD推進委員会、教育改革・改善推進委員会）		
年度末到達目標	・基礎教養教育部会・教員組織のあり方および基礎教養教育の内容と実施体制における現状把握とその問題点についての整理 ・卒業研究の実態把握、特に教員の卒業研究の指導実績、学生の卒業研究の成果・発表、単位認定制度（必修・選択）についての検討 ・教育改革改善提案の27年度公募。優先順位に基づく採択課題の実施計画 ・学生による授業評価アンケートの改定と実施 ・他大学との差別化を意識した各学科教育の特色のまとめ ・専門科目を精査整理し密度の高い内容と専門教育全体のスリム化についての検討開始		
月別	実施予定の内容		
6月	・各学科教育の特色について学科でまとめるよう依頼（教務委員会 6.30）③ ・学生による授業評価アンケートに関する質問項目の改定案検討（FD推進委員会 6.24）④		
7月	・基礎教養教員組織のあり方、基礎教養教育の内容改善と実施案作成、卒業研究の現状と問題点、専門教育の習熟度向上、教育改善提案の実施計画立案の検討（教育改革・改善推進委員会 7.16）②③④ ・学生による授業評価アンケート改定案の試行とその結果の検証（FD推進委員会 7.31）④		
8月	・FD講演会開催：要支援学生の早期発見（FD推進委員会 8.20）④		
9月	・平成27年度教育改革改善提案の募集要項等の検討並びに公募開始（教育改革・改善推進委員会）④ ・教育改善提案の具体化の検討（教育改革・改善推進委員会）④		
10月	・GPAの活用：進級・卒業要件とすることの検討②（教育改革・改善推進委員会）		
11月	・27年度教育改善公募第1次審査（教育改革・改善推進委員会）④ ・専門科目の講義内容の見直し・スリム化と出口戦略について検討開始（各学科、教務委員会）③		
12月	・各学科における教育の特色、教育内容の取りまとめ（各学科、教務委員会）③ ・平成27年度教育改善公募第2次審査（教育改革・改善推進委員会）④ ・第2回教育研究会演題の公募（教育改革・改善推進委員会、FD推進委員会、底力教育推進センター）④		
1月	・学生による授業評価アンケートの実施（FD推進委員会）④ ・学生による授業評価高得点賞表彰者の表彰規程の改定案の検討（FD推進委員会、学長）④ ・第2回教育研究会の検討（教育改革・改善推進委員会、FD推進委員会、底力教育推進センター）④ ・不振学生指導基準へのGPAの導入②（教育改革・改善推進委員会、教務委員会）		
2月	・授業概要（シラバス）及び授業評価結果等の活用・改善案の入力依頼（FD推進委員会）④ ・FD&SD講演会開催：ヒューマンコミュニケーション講座（FD推進委員会 2.26）④ ・学生授業評価高得点賞受賞者の表彰と講演(2016.2.26) (FD推進委員会) ④		
3月	・シラバス入力内容の第三者チェック実施（FD推進委員会、教務委員会）④ ・第2回教育研究会(2016.3.18) (教育改革・改善推進委員会、FD推進委員会、底力教育推進センター) ④ ・教育改善賞受賞者の表彰と講演(2016.3.18) (教育改革・改善推進委員会、学長) ④		

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	3	テーマ	教育内容の充実
責任者	鎮西 康雄	分担者	藤原 正範、岩島 誠、松永 ひとみ
中期計画項目	2. 学習支援と向学心の高揚		
本年度計画内容	① 要支援学生・留年退学リスク学生の早期発見体制の構築 (IR 推進室、教務委員会、底力教育推進センター、FD 推進委員会) ② グループ学習の支援体制の確立 (教育改革・改善推進委員会) ③ リメディアル教育の充実 (入学課、底力教育推進センター)		
年度末到達目標	・要支援学生及び留年退学リスク学生の早期発見に関する本学独自方法の考案 ・要支援学生及び留年退学リスク学生に対するケアのあり方についての検討 ・学生ピアサポート体制の構築についての検討 ・グループ学習支援体制の構築と環境整備についての提案 ・入学前リメディアル教育の実施とその成果についてのまとめ ・入学後リメディアル教育の試行的実施に基づく体系的な新しい方法の考案		
月別	実施予定の内容		
6 月	・入学前リメディアル実施について進研ゼミとの契約 (入学課、リメディアル部会) ③ ・入学後リメディアルの試行的実施 (底力教育推進センター、リメディアル部会) ③		
7 月	・グループ学習支援体制及び学生ピアサポート体制の検討 (教育改革・改善推進委員会 7.16) ② ・28 年度入学後リメディアル教育の検討 (底力教育構想会議 7.23) ③ ・学生ピアサポート体制構築の検討 (底力教育構想会議 7.23) ②		
8 月	・夏期リメディアルの実施 (底力教育推進センター、リメディアル部会) ③ ・FD 講演会開催：要支援学生の早期発見 (FD 推進委員会 8.20) ① ・要支援学生・留年退学リスク学生の早期発見体制の構築について検討 (IR 推進室 8.21) ①		
9 月	・入学後リメディアル試行結果の総括と 28 年度に向けた実施方法の検討 (底力教育推進センター)		
10 月	・入学前リメディアル学習実施に向け準備 (入学課、リメディアル部会) ③		
11 月	・グループ学習支援に関する中間報告 (教育改革・改善推進委員会) ②		
12 月	・入学予定者を対象とした入学前リメディアル教育の開始 (入学課、リメディアル部会) ③ ・グループ学習を含む自習スペース確保についての検討し結果を提案 (教務委員会) ②		
1 月			
2 月	・グループ学習支援・環境整備に関する提案のまとめ (教育改革・改善推進委員会) ② ・FD & SD 講演会開催：ヒューマンコミュニケーション講座 (FD 推進委員会 2.26) ①		
3 月	・平成 28 年度リメディアル教育の計画 (底力教育推進センター) ③		

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	大井 一弥
中期計画項目	1. 国家試験活動内容の具体化		
本年度計画内容	①学習の習慣化と指導 ②学生の支援 ④国家試験合格に向けての意識向上		
年度末到達目標	各学科が掲げた国家試験合格率の目標を達成する。 各学科における学習体制の情報を共有し、国家試験合格に向けた意識向上を図る。		
月別	実施予定の内容		
6 月	・ 第 1 回国家試験対策 WG の開催（26 年度の結果総括と 27 年度の国家試験目標と対策について） ・ 各学科のスケジュールに従った模擬試験の実施		
7 月			
8 月			
9 月			
10 月	・ 第 2 回国家試験対策 WG の開催（各学科の進捗状況及び、学習体制の情報共有）		
11 月			
12 月			
1 月			
2 月			
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

3 月	3 年生対象 概ね、病院・施設への進路希望が多い学科に対して、自己分析講座・履歴書対策講座・メイク講座・就職支援システム説明、面接対策講座を実施活動の流れ。・就職活動の心構えを説明
-----	---

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	谷口 弘、宮崎 和裕
中期計画項目	2. 就職支援体制の強化		
本年度計画内容	②医療専門職者からのガイダンス		
年度末到達目標	上記計画内容を実施		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月	6 日（木）薬学部学生を対象に「現役薬剤師を迎えてのトークセッション」を開催 27 日（木）薬学部 5 年生に対し、卒業生（病院勤務・調剤薬局勤務・ドラッグストア勤務・製薬企業勤務・大学院在学・公務員）の薬剤師を招いて業務内容や将来像について発表会および交流会を実施。		
9 月			
10 月	27 日（火）13:30～14:30 特別講師：株式会社ふくなお 代表取締役 西野美穂 氏 「企業で活躍できる人材について」		
11 月	5 日（木）13:30～15:30 特別講師：株式会社 三和化学研究所 中部・近畿・北陸エリア統括；佐久間 「三和化学研究所の人材育成について」 特別実習： 「嚥下食の作り方について」 株式会社 三和化学研究所 東海支社三重チーム課長；落合 渚 東海支社三重チーム担当；紀平 本社推進グループ；藤多(管理栄養士) 学術グループ；松岡(管理栄養士) 開発グループ；堀口(管理栄養士)		
12 月	15 日（火）13:30～14:30 特別講師：味の素製薬株式会社 東海支店岐阜営業所（三重 AS）宇野 忍 氏 「成分栄養剤について」 22 日（火）13:30～14:30		

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	大井 一弥
中期計画項目	1. 国家試験活動内容の具体化		
本年度計画内容	③自主学習スペースの確保		
年度末到達目標	上記計画内容の実施		
月別	実施予定の内容		
6 月	・教育改善推進委員会において、 学習環境について検討		
7 月			
8 月			
9 月			
10 月			
11 月			
12 月			
1 月			
2 月			
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	谷口 弘、宮崎 和裕
中期計画項目	2. 就職支援体制の強化		
本年度計画内容	①進路ガイダンスの細分化 就職活動の流れを中心としたガイダンスを学科別に実施		
年度末到達目標	上記計画内容を実施		
月別	実施予定の内容		
6 月	3 日（水） 15：10～ 医用情報工学科 3 年生対象 4 日（木） 9：30～ 医療福祉学科両コース 3 年生対象 概ね、企業への進路希望が多い学科に対して、・就職活動の流れ。・どんな就職先があるのか。・就職活動の心構え。・各求人ナビ担当者からの説明と登録を実施。同様のガイダンスを 5 月 27 日（水） 15：10～医療栄養学科管理栄養コースを対象に実施。		
7 月			
8 月	6 日（木）薬学部 5 年生対象に「業界・職種理解」および「自己分析」を主とする講座を実施。		
9 月	17 日（木）9：30～ 放射線技術科学科、医療栄養学科（臨床検査コース）、理学療法学科、臨床工学科、鍼灸学科 3 年生対象 概ね、病院・施設への進路希望が多い学科に対して、・就職活動の流れ。・就職活動の心構えを説明。		
10 月			
11 月	9 日（月）11：10～ 医療栄養学科（管理栄養コース）、13：30～医療福祉学科（医療福祉コース） 15：10～医用情報工学科、12 日（木）医療福祉学科（臨床心理コース）各 3 年生対象で「履歴書の書き方」講座を実施。 24 日（火）25 日（水）に薬学部 5 年生を対象とした履歴書用の写真撮影を実施。		
12 月	18 日（金）薬学部 5 年生対象に求人閲覧システム・就職支援サイト等の活用法説明会を実施。 22 日（金）薬学部 5 年生対象に「履歴書作成講座」「面接対策講座」を実施。		
1 月	14 日（木）9：30～ 医療栄養学科（管理栄養コース）、医療福祉学科（医療福祉コース）、医用情報工学科、医療福祉学科（臨床心理コース）各 3 年生対象で面接対策講座及び就職支援システム説明を実施。		
2 月			
3 月	25 日（金）薬学部 5 年生を対象に「面接マナー講座」を実施。 26 日（土）薬学部 5 年生を対象に「学内合同企業説明会」を開催。 30 日（水）9：30～、31 日（木）9：30～ 放射線技術科学科、医療栄養学科（臨床検査コース）、理学療法学科、臨床工学科、鍼灸学科		

12 月	特別講師：松浪総合病院 管理栄養士（NST 専門療法士） 穐山直美 先生 「病院の管理栄養士業務について」
1 月	12 日（火） 13:30～14:30 特別講師：みえ IBD 患者会 会長 吉尾智博 氏 「難病と上手に付き合う」 19 日（火） 13:30～14:30 特別講師：四日市羽津医療センター 料理長 石崎克彦 氏 「病院の管理栄養士の役割について」
2 月	
3 月	

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	谷口 弘、宮崎 和裕
中期計画項目	2. 就職支援体制の強化		
本年度計画内容	③就職資料室の環境整備 企業、病院・施設のパンフレットの保管方法の見直し、学生との面談スペースの確保		
年度末到達目標	上記計画内容を実施		
月別	実施予定の内容		
6 月	各企業、病院・施設の情報はインターネットで検索することができるため、古いパンフレットを処理し、それらが収納されていた棚を撤去することによってできたスペースに学生との面談スペースを 2 か所増設と来客用スペース 1 か所を確保した。 白子キャンパスにおいて、インターンシップへの参加の強化や企業説明会実施についてより多くの学生に周知できるように実習等でより利用する建屋の一角に案内掲示やパンフレットスタンドを置いたオープンスペースを設置した。		
7 月			
8 月			
9 月			
10 月			
11 月	相談コーナ 2 箇所のプライバシーを保護すべく、パーテーションを設置。 白子キャンパスの就職資料室を就職相談室に変更し、個別相談及び面接練習の場所とした。		
12 月			
1 月			
2 月			
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	谷口 弘、宮崎 和裕
中期計画項目	2. 就職支援体制の強化		
本年度計画内容	④低学年からの就職選択における広い視野を持たせるための指導の充実		
年度末到達目標	上記計画内容を実施		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月	6 日（木）薬学部全学年および保護者を対象とし、放送会社の寄付講座と、協賛企業 8 社の薬剤師を招いて「これからの薬剤師に求められるものは何か」というトークセッションを実施。		
9 月			
10 月			
11 月	医療栄養学科 管理栄養コース 2 年・3 年生対象 5 日（木）13:30～15:30 特別講師：株式会社 三和化学研究所 中部・近畿・北陸エリア統括；佐久間 「三和化学研究所の人材育成について」 特別実習： 「嚥下食の作り方について」 株式会社 三和化学研究所 東海支社三重チーム課長；落合 渚 東海支社三重チーム担当；紀平 本社推進グループ；藤多(管理栄養士) 学術グループ；松岡(管理栄養士) 開発グループ；堀口(管理栄養士)		
12 月	医療栄養学科 管理栄養コース 2 年・3 年生対象 22 日（火）13:30～14:30 特別講師：松浪総合病院 管理栄養士（NST 専門療法士）穂山直美 先生 「病院の管理栄養士業務について」		
1 月	医療栄養学科 管理栄養コース 2 年・3 年生対象 19 日（火）13:30～14:30 特別講師：四日市羽津医療センター 料理長 石崎克彦 氏 「病院の管理栄養士の役割について」		
2 月			

3 月	薬学部 5 年生を主な対象とし、学内合同企業説明会を開催予定。低学年も参加可能とし、薬剤師としての魅力再開発と広い視野を持てるようにする。
-----	---

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	村田 尚久
中期計画項目	2. 就職支援体制の強化		
本年度計画内容	⑤平成 27 年度地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+) の協働機関として協賛、高等教育コンソーシアムみえ		
年度末到達目標	上記内容の実施		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月			
9 月	28 日(月) 平成 27 年度地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+) の採択報告		
10 月			
11 月	11 日(水) 平成 27 年度地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+) 第 1 回全体会議の開催		
12 月			
1 月			
2 月			
3 月	29 日(火) 「高等教育コンソーシアムみえ」設立協定の締結		

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	豊田 長康
中期計画項目	3-1. 学生生活支援体制の強化-学生の要望や状況を常に把握し対応する体制の強化		
本年度計画内容	①学長と学生が直接意見交換する取り組みを定期的開催		
年度末到達目標	上記計画内容の実施		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月			
9 月	・適宜学生との意見交換会の実施		
10 月			
11 月			
12 月			
1 月	意見交換会 25 日、26 日実施済		
2 月	意見交換会 3 日、4 日、8 日実施済		
3 月	↓		

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	田中 宏治、宮崎 和裕
中期計画項目	3-1. 学生生活支援体制の強化-学生の要望や状況を常に把握し対応する体制の強化		
本年度計画内容	②引き続き学生の満足度を把握するとともに、取り上げるべき要望について検討		
年度末到達目標	上記計画内容の実施		
月別	実施予定の内容		
6 月	・ 学生総会においてアンケート調査（学生の要望・満足度を把握）5 月 15 日実施済		
7 月	・ 学友会懇談会においてアンケートの集約 及び、関係部局への改善依頼を行う 7 月 2 日実施済		
8 月			
9 月			
10 月	・ 卒業生アンケートの実施 平成 27 年 10 月 31 月に実施済 (在学時の修学・生活及び卒業後の状況について把握)		
11 月			
12 月			
1 月			
2 月			
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	矢田 公
中期計画項目	3-2. 学生生活支援体制の強化-健康管理体制の整備（からだ・こころ）		
本年度計画内容	①健康管理センター（千代崎キャンパス）・白子保健室（白子キャンパス）における機能充実の検討 ・利用状況等調査の実施と、調査結果に基づく改善実行 ・学生健康管理データの一元化、システムの検討		
年度末到達目標	上記計画内容の実施		
月別	実施予定の内容		
6 月	学生健康診断結果で所見のあった学生を対象に保健指導の実施		
7 月	精神健康度調査で心に問題を抱えていると思われる学生を対象に面談の実施		
8 月	・利用状況調査の結果より、頻回利用の学生をピックアップし自立に向けたサポートを行う。 頻回利用の学生について、学科長へ連絡し学科からの指導の橋渡しを実施		
9 月	電離放射線健康診断（放射線技術科学科 2 年生）実施		
10 月	検便検査（医療栄養学科 3 年制）実施 検便検査（大学祭関係者）実施		
11 月	・インフルエンザやノロウィルスの学内流行防止対策として、パンフレットを作成し情報提供を行う 健康管理センター及び学内トイレ等への注意喚起文書の掲示の実施		
12 月			
1 月			
2 月	・新入生配布用リーフレット『キャンパスライフで必要な健康上の注意点』の作成		
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化	
責任者	長村 洋一		分担者	村田 尚久
中期計画項目	3-2. 学生生活支援体制の強化-健康管理体制の整備（からだ・こころ）			
本年度計画内容	②障がい者差別解消法の施行に向けた、支援体制と関係部署の連携の具体化			
年度末到達目標	上記計画内容の実施			
月別	実施予定の内容			
6 月	・ バリアフリー化に向けての改修整備の検討			
7 月				
8 月				
9 月	・ 障がい者支援体制の現状把握			
10 月	・ 全国障害学生支援セミナー出席			
11 月				
12 月				
1 月	障がい学生支援係設置に向けてプロジェクトチームの結成 障害者支援向けの検討開始			
2 月	↑ ・ 新入生、障がい者支援の検討 ・ 次年度、障がい者支援体制の検討 ↓			
3 月				

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	中川 一郎
中期計画項目	3-2. 学生生活支援体制の強化-健康管理体制の整備（からだ・こころ）		
本年度計画内容	③学生相談体制の有効なあり方、支援のあり方の検討 ・相談体制の整備 ・各学科教員との連携		
年度末到達目標	上記計画内容の実施		
月別	実施予定の内容		
6 月	・ 学生相談室カウンセラーからの現状報告（学生指導委員会にて） カウンセラーより学生相談室報告実施		
7 月			
8 月	F D 講演会：本学学生の指導と支援に関する考察実施 本学学生の精神的健康度について-4 年間の UPI の結果より-（看護師 白藤・健康管理センター） 大学生の発達障害-その特徴と対応における注意点-（渡部先生・臨床心理コース）		
9 月			
10 月	・ 前期・学生相談室利用状況報告		
11 月	前期・学生相談室利用状況報告実施（回覧にて）		
12 月			
1 月	学生相談室顧問からの学生相談室報告（学生指導委員会にて）		
2 月	・ 次年度、学生相談室体制について検討 学生相談室顧問調整		
3 月	・ 後期・学生相談室利用状況報告		

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	田中 宏治、宮崎 和裕
中期計画項目	3-3. 学生生活支援体制の強化-福利厚生と基本的生活指導		
本年度計画内容	①学生の福利厚生、学内生活環境、学生生活の充実における満足度向上のための取組み ②安全な学生生活を送れるための援助の継続		
年度末到達目標	上記計画内容の実施		
月別	実施予定の内容		
6 月	・学生食堂（千代崎キャンパス）のエアコン更新-① 6 月 15 日実施済 ・学生食堂において提供する食事のメニュー 及び、カロリーの大学ホームページへの掲載-① 掲載中 ・麻薬・危険ドラッグ防止講演会の実施-② 2 年生～4 年生において実施済 ・あいさつ運動及び交通指導の実施〔8・3 月を除くすべての月で実施〕-② 計画どおり実施中 ・通学用 自動車・自動二輪車・自転車の登録 及び、安全のてびき(小冊子)の配布-② 実施中		
7 月			
8 月	・講義棟（千代崎キャンパス）トイレの全面改修工事-① 9 月 10 日完了 ・学生食堂（千代崎キャンパス）照明器具 及び、什器類の更新-① 9 月 10 日完了 ・交通安全講習会の実施-② 8 月 6 日実施済		
9 月			
10 月	・麻薬・危険ドラッグ防止講演会の実施-② 1 年生～3 年生において実施中 ・ガイダンス時 通学路の注意喚起-② ガイダンス時に注意喚起		
11 月			
12 月			
1 月			
2 月	・麻薬・危険ドラッグ防止講演会の実施-② 薬学部 4 年生対象に 1 月 26 日実施済		
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	医療栄養学科
中期計画項目	3-3. 学生生活支援体制の強化-福利厚生と基本的生活指導		
本年度計画内容	③学生の栄養指導による健康管理への介入の検討 ・学生の食事に関する実態調査の実施と栄養指導 ・定期的に栄養相談できる環境整備の検討		
年度末到達目標	上記計画内容の実施		
月別	実施予定の内容		
6 月	・健康診断（平成 27 年 4 月）と同時に実施した食生活調査票の解析を行う。 実施済 ・食生活相談室の準備 食生活相談実施の流れ、対象者、食生活相談の予約管理などについて検討する。		
7 月	・食生活調査票の解析結果の中間報告を行う。 ・食生活相談室の準備		
8 月	・食生活調査票の解析結果の中間報告を行う。 ・食生活相談室の準備		
9 月	・食生活調査票の解析結果の最終報告を行い、学生の食生活に対する問題点をあげ、食生活相談室の設置や対象者となる学生への対応を検討する。 問題点確認済、やせ型の学生が多い ・食生活相談室の準備		
10 月	・食生活相談室の準備 健康管理センター内（千代崎キャンパス）、3 号館内（白子キャンパス）に配置		
11 月	・食生活相談室の実施予定 健康管理センターより、対象学生へメール案内送信済 希望者に栄養指導実施中		
12 月			
1 月			
2 月			
3 月	・食生活相談室のまとめと次年度にむけての改善点などを検討する。		

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	田中 宏治、宮崎 和裕
中期計画項目	4. 課外・社会活動の自主的参加への支援		
本年度計画内容	①学生組織、各種クラブ・サークル活動支援の継続 ②ゴミ拾い等、地域に貢献できるような活動を積極的に検討 ④大学祭を、千代崎キャンパス、白子キャンパスそれぞれで開催できるよう検討 ⑤学内スポーツ大会の開催を検討		
年度末到達目標	上記計画内容の実施		
月別	実施予定の内容		
6 月	・クラブ運営助成金の支給-① 6 月 18 日実施済 ・学生指導委員会において、大学祭・学内スポーツ大会の実施を検討 [8 月を除くすべての月で実施]-④⑤ 9 月は、委員のスケジュールが合わず未実施		
7 月	・クラブ・サークル運営委員会の実施-① 7 月 16 日実施済 ・大学周辺における清掃活動の実施-② 6 月 28 日実施済		
8 月			
9 月			
10 月			
11 月	・学内スポーツ大会（駅伝大会）の実施-⑤ 12 月 23 日実施済 ・第 25 回 大学祭の実施-① 11 月 14 日 15 日実施済		
12 月	・クラブ・サークル運営委員会の実施-① 12 月 10 日実施済 ・大学周辺における清掃活動の実施-② 12 月 13 日実施済		
1 月	・クラブ・サークル運営委員会の実施-① 1 月 14 日実施済		
2 月	来年度大学祭に向けて検討チームの結成・打ち合わせ		
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	4	テーマ	学生支援の強化
責任者	長村 洋一	分担者	ボランティアセンター
中期計画項目	4. 課外・社会活動の自主的参加への支援		
本年度計画内容	③全学的なボランティアセンター運営委員会の設置と、学生によるボランティア活動のコーディネート体制の強化		
年度末到達目標	上記計画内容の実施		
月別	実施予定の内容		
6 月	・ ボランティアセンター現状について検討		
7 月			
8 月			
9 月	・ ボランティアセンター運営委員会設置について検討		
10 月			
11 月	ボランティアセンター長、ボランティアセンター担当に設置について打診。		
12 月			
1 月			
2 月			
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	5	テーマ	教職員の人材確保と育成
責任者	鎮西 康雄	分担者	岩島 誠、水谷 史生、村田 尚久、矢田 智樹
中期計画項目	1. 大学職員として相応しい人材の確保		
本年度計画内容	①分野特性や本学の特殊事情を考慮し学科の適正な教員数や構成（年齢構成・男女比・実務教員の比率など）についての調査・検討（学長、副学長、大学事務局長） ②教員の昇任・採用に関する審査方法の見直しの実施（学長、副学長、大学事務局長）		
年度末到達目標	① 分野特性や本学の特殊事情を考慮し学科の適正な教員数や構成についての調査・検討結果のまとめ ② 新しい教員の昇任・採用に関する審査方法の確立		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月	・新しい教員の昇任・採用に関する審査方法の検討開始 10 月 6 日の運営協議会にて、採用手順（案）について承認された。 ・学科の適正な教員数や構成についての調査・検討の開始 メンバー未定につき、現時点では何も進んでいない。		
9 月	・9 月 1 日運営協議会に教員の採用手順（案）、昇任手順（案）を提出した。昇任手順（案）については承認されたが、採用手順（案）については一部文言の修正があり、10 月の運営協議会で再度審議することとなった。		
10 月	・新しい教員の昇任・採用に関する審査方法の実施 10 月から実施されている。		
11 月			
12 月			
1 月			
2 月			
3 月	・学科の適正な教員数や構成についての調査・検討結果のまとめ		

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	5	テーマ	教職員の人材確保と育成
責任者	鎮西 康雄	分担者	岩島 誠、水谷 史生、村田 尚久、矢田 智樹、 松永 ひとみ
中期計画項目	2. FD 等による教員の教育・研究能力開発の推進		
本年度計画内容	① 教員の教育力向上方策についての検討（FD 推進委員会、教育改革・改善推進委員会）		
年度末到達目標	・教員の教育力向上の方策方針の明確化		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月	・教育改革・改善推進委員会：教員の教育力・研究能力向上方策の検討方針について(7.16)		
8 月	・FD 講演会開催(FD 推進委員会 8.20)		
9 月	・FD 委員会：学生の授業評価結果の活用と教育力研究力向上の方策検討開始		
10 月			
11 月	・アセスメントポリシー検討開始		
12 月			
1 月	・授業評価アンケートを改訂版にて実施（授業評価アンケート実施期間 1.6～2.5）		
2 月	・FD&SD 講演会開催：ヒューマンコミュニケーション講座（FD 推進委員会 2.26） ・学生による授業評価に基づく学長表彰の実施(FD 推進委員会)		
3 月	・教員教育力・研究力向上の方策をまとめる。		

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	5	テーマ	教職員の人材確保と育成
責任者	鎮西 康雄	分担者	岩島 誠、水谷 史生、村田 尚久、矢田 智樹
中期計画項目	3. 職員の課題解決能力の向上		
本年度計画内容	①課題解決に関連した学内外の研修等への積極的な参加と、研修内容および研修成果の学内共有（学長、法人事務局、大学事務局） ②各部署において基本方針や中期計画に照らした現場の課題の洗い出しと、その解決策を立案・実行する活動の開始（学長、法人事務局、大学事務局）		
年度末到達目標	①課題解決に関連した学内外の研修等への積極的な参加実績の拡大と研修内容および研修成果の学内共有 ②各部署において基本方針や中期計画に照らした現場の課題の洗い出しとその解決策を立案・実行する活動の開始（学長、法人事務局、大学事務局）		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月			
9 月	・ 9 月 9 日 FD 研修会が開催された ・ 課題解決に関連した学内外の研修等の検索と計画的な派遣方法の立案 進んでいない。 ・ 各部署において基本方針や中期計画に照らした現場の課題の洗い出しとその解決策を立案・実行する活動の開始 進んでいない。		
10 月	・ 研修結果の学内共有の方法の検討 進んでいない。		
11 月			
12 月	・ 12 月 25 日 コンソーシアム三重 FD・SD 交流事業 研修会が開催された		
1 月			
2 月			
3 月	・ 研修参加状況や学内共有方法についてのまとめ ⇒ 次年度へ ・ 各部署での課題とその解決策についてのまとめ ⇒ 次年度へ		

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	6	テーマ	研究機能の充実
責任者	川西 正祐	分担者	葛原 茂樹・磯部 篤男
中期計画項目	1. 大学院の充実と研究者育成		
本年度計画内容	①大学全体として、あるいは学科毎にその能力を伸ばすような集团的・横断的指導体制を作り、研究力の育成方法を検討する。 ②教員の研究力向上のための方策として、若手教員の研究を支援する方法について検討するため、副学長（大学院・研究担当）の下に研究推進委員会を発足。 ③本学卒業生の大学院入学を促進し、学生及び大学院生の論理的思考力・問題解決力等についての学内広報の強化、及び同窓会と連携した学部卒業生への情報提供強化等を行い、大学院進学を促進する。		
年度末到達目標	研究者に対する集团的・横断的指導体制の推進と研究環境の充実をはかる		
月別	実施予定の内容		
6 月	・薬学部 6 年生を対象とした大学院説明会の開催(24 日)		
7 月			
8 月	・画像処理セミナー開催(3 日)		
9 月	・第 1 回研究推進委員会開催(7 日)		
10 月			
11 月			
12 月	・第 2 回研究推進委員会開催(7 日)		
1 月			
2 月	・第 3 回研究推進委員会開催(18 日)		
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	6	テーマ	研究機能の充実
責任者	川西 正祐	分担者	葛原 茂樹・松永 ひとみ
中期計画項目	1. 大学院の充実と研究者育成		
本年度計画内容	④平成28(2016)年度から、医療科学研究科東京サテライトの放射線治療学分野を「医学物理士」認定試験の受験支援を主目的とする分野にシフトするため、それに対応できるカリキュラム整備、教員確保、ホームページ改定や学生確保のための広報活動等の開始(教務課、企画課、入学課)		
年度末到達目標	医療科学研究科東京サテライトの放射線治療学分野を「医学物理士」認定試験の受験支援を主目的とする分野にシフトする。そのための準備を進める。		
月別	実施予定の内容		
6月	医療科学研究科東京サテライトの放射線治療学分野を「医学物理士」認定試験の受験支援を主目的とする分野にリニューアルすることを決定 新分野の入学募集要項を公表(広報活動の開始)、ホームページの改定		
7月	新分野の兼任教員の選任(放射線技術科学科・川野教授の選任、10月発令)		
8月	第Ⅰ期入学試験		
9月			
10月	新分野のカリキュラムの確定・非常勤講師の選任		
11月			
12月			
1月			
2月	第Ⅱ期入学試験		
3月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	6	テーマ	研究機能の充実
責任者	川西 正祐	分担者	葛原 茂樹・磯部 篤男
中期計画項目	2. 研究環境の整備・充実		
本年度計画内容	①東洋医学的視点及び薬食同源の観点から本学の独創的研究を進めるための研究環境の充実の検討。 ②各学科・各研究科・各分野に、独創的な研究対象を設け共同研究を進める体制の構築を検討。		
年度末到達目標	超高齢社会における疾病予防のための薬食同源・東洋医学的研究拠点		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月			
9 月			
10 月	独創的研究を進めるための検討(各学科、各研究科、東洋医学研究所)		
11 月	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業への応募について法人と検討		
12 月			
1 月			
2 月			
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	6	テーマ	研究機能の充実
責任者	川西 正祐	分担者	葛原 茂樹・磯部 篤男
中期計画項目	2. 研究環境の整備・充実		
本年度計画内容	③科学研究費などの外部資金の申請率及び採択率をあげるための具体的方策を実施 ・科学研究費採択率向上を目指し、講習会の開催 ・より良い科学研究費申請書の作成のためのサポート体制の構築		
年度末到達目標	科学研究費などの外部資金の申請率及び採択率をあげる		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月	・画像処理セミナー開催(3 日)		
9 月	・第 1 回研究推進委員会開催(7 日) ・平成 28 年度科学研究費補助金説明会(採択率向上を目指しての講習会開催(24 日) ・公的研究費に関するコンプライアンスに関する研修会の開催(24 日)		
10 月	・科学研究費採択率向上のため審査経験者による獲得支援 (サポート活動開始)		
11 月	↓		
12 月			
1 月	・第 2 回研究推進委員会開催(7 日)		
2 月	・第 3 回研究推進委員会開催(18 日)		
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	7	テーマ	地域・産学官連携推進
責任者	鈴木 宏治	分担者	磯部 篤男
中期計画項目	1. 地域・産学官連携研究活動による社会貢献の推進		
本年度計画内容	①県・市町・企業・地域団体等との間で行う研究に関する産学官連携活動の推進		
年度末到達目標	地域・産学官連携に基づく共同研究、広報活動等の着実な実施		
月別	実施予定の内容		
6 月	・ニチニチ製薬訪問(4 日) ・第三銀行と包括協定打合せ(15 日) ・SUZUKA 産学官交流会役員会(23 日)		
7 月	・社会連携研究センター運営委員会 (28 日) ・三重銀総研との連携活動の打合せ(29 日)		
8 月	・中外医薬生産株式会社訪問(7 日) ・鈴鹿市との産学官連携会議出席 (18 日) ・日清オイリオグループ株式会社第 1 回打合せ (鈴鹿市役所) (19 日) ・イノベーション・ジャパン大学見本市 (東京ビッグサイト) (26-28 日)		
9 月	・第三銀行と包括協定打合せ(1 日) ・SUZUKA 産学官交流会会長等とのハナビラタケ新プロジェクトに関する打合せ (3 日) ・三重大学との連携協議会出席 (4 日) ・みえメディカルバレー推進代表者会議(7 日) ・みえライフイノベーション総合特区地域協議会(7 日) ・三重銀総研・九鬼産業との連携活動の打ち合わせ (10 日)		
10 月	・第三銀行と包括協定締結(2 日) ・熊野市との委託研究打ち合わせ (2 日) ・日清オイリオグループ株式会社第 2 回打合せ(7 日) ・SUZUKA 産学官交流会 (鈴鹿医療科学大学・三重大学合同フォーラム開催) (9 日) ・伊勢志摩サミット県民会議出席 (学長代理) (13 日) ・鈴鹿まなべる講演 (ハナビラタケで健康と美を) (23 日)		
11 月	・自己評価委員会出席 (6 日) ・SUZUKA 産学官交流会県外視察研修会「和歌山大学」(10~11 日) ・みえリーディング産業展出展(20 日・21 日) ・日清オイリオグループ株式会社第 3 回打合せ(25 日)		

11 月	・SUZUKA 産学官交流会（鈴鹿大学フォーラム：26 日） ・みえメディカルバレー企画推進会議(30 日)
12 月	・自己評価委員会（8 日） ・日清オイリオグループ株式会社第 4 回打合せ(9 日) ・SUZUKA 産学官交流会役員会(9 日)
1 月	・第三銀行地域振興課との打ち合わせ（15 日） ・日清オイリオグループ株式会社第 5 回打合せ（15 日） ・鈴鹿病態薬学研究会第 8 回(15 日) ・鈴鹿市ものづくり支援センターイベント出展（24 日） ・サイバーダイン社との打ち合わせ（26 日） ・「ノロウイルス健康被害の撲滅に向けた包括連携協定」締結式(26 日)
2 月	・日清オイリオグループ株式会社第 6 回打合せ（8 日） ・自己評価委員会（9 日） ・社会連携研究センター運営委員会（10 日） ・みえメディカルバレー企画推進会議(18 日) ・鈴鹿市・日清オイリオグループ株式会社との協定調印式（22 日） ・SUZUKA 産学官交流会（鈴鹿工業高等専門学校フォーラム：26 日）
3 月	・日清オイリオグループ株式会社第 7 回打合せ（4 日） ・SUZUKA 産学官交流会役員会（17 日） ・鈴鹿病態薬学研究会第 9 回(22 日) ・みえメディカルバレー推進代表者会議(29 日) ・みえライフイノベーション総合特区地域協議会(29 日)

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	7	テーマ	地域・産学官連携推進
責任者	鈴木 宏治	分担者	磯部 篤男
中期計画項目	2. 地域・産学官連携研究活動の強化に向けた学内基盤の整備		
本年度計画内容	①地域・産学官連携研究に関する組織づくりの具体化 ②社会連携推進の方策の検討		
年度末到達目標	地域・産学官連携研究を推進する活動計画の立案		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月	・ 第 2 回社会連携研究センター運営委員会開催(28 日)		
8 月			
9 月			
10 月	・ 鈴鹿医療科学大学全学シーズ集 2 0 1 6 の完成(26 日) ・ 第 3 回社会連携研究センター運営委員会の開催(19 日)		
11 月			
12 月	・ 鈴鹿医療科学大学社会連携研究センター H P 作成(22 日)		
1 月			
2 月	・ 第 4 回社会連携研究センター運営委員会の開催(10 日)		
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	8	テーマ	国際交流の推進
責任者	葛原 茂樹	分担者	大西 和子、磯部 篤男
中期計画項目	1. グローバル化に向けた学内体制の整備		
本年度計画内容	①国際交流検討委員会を設置 ②学内の各レベル（大学、学部、学科、個人）で実施されている国際協力活動（学術、教育、その他）の現状調査の実施と、現在、継続的あるいは萌芽的に進行中のものがあれば、将来の発展性を含め調査を実施 ③国際交流活動の参考にするために、他大学の組織や活動を調査する。		
年度末到達目標	国際交流委員会設置に向けて、検討委員会で現状調査を実施し、H28 年度の実施計画を立てる。		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月	・第 1 回国際交流検討委員会開催(30 日) メンバー：各学科に委員推薦依頼。(法人事務局、大学事務局、研究振興課) 課題の検討。現状とニーズの調査を今年度実施。		
8 月			
9 月			
10 月	・第 2 回国際交流検討委員会開催(20 日) ※各学科の現状とニーズの調査を実施した結果の報告。事務レベルで調査した近隣の大学での国際交流状況の報告。数学部から、国際交流に向けての萌芽的動きがあることが報告された。		
11 月			
12 月	・第 3 回国際交流検討委員会開催(10 日)。その後の状況報告と次年度の取り組みの意見交換。		
1 月			
2 月	・第 4 回国際交流検討委員会開催(23 日)		
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	8	テーマ	国際交流の推進
責任者	葛原 茂樹	分担者	大西 和子、磯部 篤男
中期計画項目	2. 教員の国際化への対応力・国際的な発信力を強化と、学生の海外体験の機会を拡充		
本年度計画内容	①国際対応力実践の場として、全ての学科において教員と学生の一定数が海外体験することを目標に、学科単位で検討開始		
年度末到達目標	国際交流検討委員会において、現状調査を踏まえて、国際化を担うことができる教員と国際的発信力を持つシーズを把握する。学生の海外体験の機会を増やす方策を全学と学科レベルで検討する（継続的な交流が可能な海外施設探索、英語力を高める方策など）		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月	・ 第 1 回国際交流検討委員会開催(30 日) メンバー：各学科に委員推薦依頼。(法人事務局、大学事務局、研究振興課) 課題の検討。現状とニーズの調査を今年度実施。		
8 月			
9 月			
10 月	・ 第 2 回国際交流検討委員会開催(20 日) ※各学科の現状とニーズの調査を実施した結果を報告し意見交換を行った。		
11 月			
12 月	・ 第 3 回国際交流検討委員会開催(10 日)		
1 月			
2 月	・ 第 4 回国際交流検討委員会開催(23 日)		
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	8	テーマ	国際交流の推進
責任者	葛原 茂樹	分担者	大西 和子、磯部 篤男
中期計画項目	3. アジア等の保健・医療・福祉領域の学術・教育の交流拠点づくり		
本年度計画内容	①三重県国際医療技術連携体制(M・MUSCLE)と連携し、国際交流を推進する ②本学活動として、継続的に交流と提携検討が可能な拠点づくりを目指し、拠点候補大学・施設の検討を開始 ③天津中医薬大学との連携の方策を検討する		
年度末到達目標	三重県国際医療技術連携体制(M・MUSCLE)の定期会議に参加して、情報収集をする とともに、県内での活動に参加する。更に、近々に開始予定の英国との看護師・看護 学生研修プログラムに参加可能な人材育成法を検討する。(IELTS 6 以上の会話力が 条件。TOEC 換算で 740・820)		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月	・第 1 回国際交流検討委員会開催(30 日) メンバー：各学科に委員推薦依頼。(法人事務局、大学事務局、研究振興課) 課題の検討。現状とニーズの調査を今年度実施。		
8 月			
9 月			
10 月	・第 2 回国際交流検討委員会開催(20 日) ※各学科の現状とニーズの調査を実施した結果が報 告された。		
11 月			
12 月	・第 3 回国際交流検討委員会開催(10 日)葛原委員長から、第 2 回三重県国際医療技術連携体制 協議会(12/7)の報告があった。この中で、県の H27 年度事業として実施されるロンドンのロ イヤルフリーホスピタルの看護職員の短期研修(H28 年 2/29-3/4)に本学からも応募するよう に依頼があったことが報告された。		
1 月			
2 月	・第 4 回国際交流検討委員会開催(23 日)		
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	9	テーマ	大学活性化のための継続可能な組織体制改革
責任者	豊田 長康	分担者	村田 尚久
中期計画項目	1. 学長のリーダーシップとマネジメント体制の構築		
本年度計画内容	①学長・副学長ミーティングの継続実施（学長、副学長、大学事務局長）		
年度末到達目標	学長・副学長ミーティングを原則として1か月1回のペースで実施（ただし、活動計画検討・実行委員会と同時開催も可とする。）		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月	学長・副学長ミーティングの年間開催計画を策定（活動計画検討・実行委員会と同時開催も可）。		
8 月			
9 月			
10 月			
11 月			
12 月			
1 月			
2 月			
3 月	自己評価、次年度計画立案		

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	9	テーマ	大学活性化のための継続可能な組織体制改革	
責任者	豊田 長康		分担者	村田 尚久
中期計画項目	1. 学長のリーダーシップとマネジメント体制の構築			
本年度計画内容	②各学部・学科の各層の教員と学長（副学長）との意見交換ミーティングを実施（学長、副学長）			
年度末到達目標	大学協議会メンバー以外の教員層とのミーティングを最低3回実施（テーマは、大学の活動計画についての意見交換）			
月別	実施予定の内容			
6 月				
7 月				
8 月	大学協議会メンバー以外の教員層とのミーティングを最低3回実施（テーマは、大学の活動計画等についての意見交換）			
9 月				
10 月				
11 月				
12 月				
1 月				
2 月				
3 月	自己評価、次年度計画立案			

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	9	テーマ	大学活性化のための継続可能な組織体制改革
責任者	豊田 長康	分担者	水谷 史生、村田 尚久、大畑 江美子
中期計画項目	1. 学長のリーダーシップとマネジメント体制の構築		
本年度計画内容	③自己評価委員会の下部委員会である「活動計画検討・実行委員会」を実動させ、大学全体・各部署・各個人で PDCA を着実に回す体制を整備（自己評価委員会） ・基本方針・中期計画に基づき、各学部、学科、研究所、委員会等が改善に向けての課題を共有し、各部署単位で自己点検評価を実施		
年度末到達目標	月 1 回の活動計画検討・実行委員会の開催と中間自己評価および年度自己評価の実施 および、次年度活動計画（案）の策定		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月	7 月 15 日第一回活動計画検討・実行委員会を開催。以後、軌道に乗るまでは、月 1 回のペースで開催。各部署単位での自己点検評価の実施方法について検討。		
8 月			
9 月			
10 月	中間自己評価を実施		
11 月			
12 月			
1 月			
2 月			
3 月	自己評価、次年度計画立案		

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	9	テーマ	大学活性化のための継続可能な組織体制改革
責任者	豊田 長康	分担者	村田 尚久、IR推進室
中期計画項目	1. 学長のリーダーシップとマネジメント体制の構築		
本年度計画内容	④IR推進室による教学の現状分析と可視化を促進し、エビデンスとして蓄積（IR推進室）		
年度末到達目標	IR推進室会議の毎月の開催。データベースに入力するデータの拡大、定例的データの報告体制。年度末に新たなデータ分析の結果を報告		
月別	実施予定の内容		
6月			
7月	毎月1回の推進室会議の開催 中期計画に基づいた今後の基本方針、新たな入力項目の検討、定例的に報告するデータ、研究を可能とする包括同意の検討、等		
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月	教育研究会で成果を報告 ↓		
3月	自己評価、次年度計画立案		

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	9	テーマ	大学活性化のための継続可能な組織体制改革	
責任者	豊田 長康		分担者	水谷 史生、村田 尚久、矢田 智樹、 大畑 江美子
中期計画項目	1. 学長のリーダーシップとマネジメント体制の構築			
本年度計画内容	⑤目標・計画達成に向かって実動しやすいよう、各種規程の見直しと活用を容易にする規程管理方法を構築（法人事務局・大学事務局）			
年度末到達目標	各種規程の見直しと活用を容易にする規程管理方法の構築			
月別	実施予定の内容			
6 月				
7 月				
8 月	各種規程の見直しと活用を容易にする規程管理方法の検討を開始 ・9 月 7 日に各課が持っている規程の見直しについて依頼した。各課から集まった規程の情報を基に精査をしているところであり、規程の管理方法の検討には至っていない。また、年度末までに活動できる目途がつくかどうか未定である。			
9 月				
10 月				
11 月				
12 月				
1 月				
2 月	各種規定の見直し案および規定管理方法について機関決定 各種規定の見直し案および規定管理方法について検討中である			
3 月	自己評価、次年度計画立案			

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	9	テーマ	大学活性化のための継続可能な組織体制改革
責任者	豊田 長康	分担者	水谷 史生、村田 尚久、矢田 智樹
中期計画項目	1. 学長のリーダーシップとマネジメント体制の構築		
本年度計画内容	⑥教職協働の下、管理部門と教学部門の連携の強化（教員、法人事務局・大学事務局） ・教員、管理部門、教学部門間のコミュニケーションの機会の拡充		
年度末到達目標	医療人底力教育や全部門共通に検討が必要な事項（教育改善提案制度、業務改善活動、経費削減活動など）を通じて、教員、管理部門、教学部門間のコミュニケーションの機会を作る。		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月	教員、管理部門、教学部門に共通した事項における 3 部門連携活動の企画（教育改善提案制度・業務改善活動・経費削減活動の一環として、ワークショップや発表会などを通じた部門間連携を強めること等が考えられる。） 経費削減活動については 8 月 26 日に経費削減推進委員会立ち上げられ、活動内容については重点分野 10「財政基盤の充実」で実行されている。		
9 月			
10 月	3 部門連携活動の実施		
11 月			
12 月			
1 月			
2 月	3 部門連携活動は実施されていない		
3 月	↓ 自己評価、次年度計画立案		

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	9	テーマ	大学活性化のための継続可能な組織体制改革	
責任者	豊田 長康		分担者	水谷 史生、村田 尚久、矢田 智樹
中期計画項目	2. 組織・業務の見直し			
本年度計画内容	①ビルドだけではなくスクラップを重視する視点で各種組織・委員会・業務等を見直し、「ムダ・ムリ・ムラ」の有無の検討（学長、法人事務局、大学事務局、学科）			
年度末到達目標	次年度の各種組織・委員会・業務の見直し案の機関決定			
月別	実施予定の内容			
6 月				
7 月				
8 月	各部署の業務見直しを目標に、各部署単位にて 1 項目以上の「スクラップ」業務の案を提出。			
9 月	各部署からの業務見直しの「スクラップ」等のアイデアを参考にして、見直しが必要な組織・委員会・業務等を特定			
10 月	見直し案を学長・副学長会議等で検討			
11 月				
12 月				
1 月				
2 月	見直し案を機関決定			
	法人事務局、大学事務局の業務見直し			
3 月	自己評価、次年度計画立案			
	 事務組織改正			

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	9	テーマ	大学活性化のための継続可能な組織体制改革	
責任者	豊田 長康		分担者	水谷 史生、村田 尚久、矢田 智樹
中期計画項目	3. 教職員評価システムの構築			
本年度計画内容	①教職員のモチベーションを高めるための評価システム構築を検討（学長、副学長、法人事務局、大学事務局）・他大学等における教職員評価制度を調査・検討			
年度末到達目標	他大学における教職員評価制度を調査・検討し、たたき台の評価制度案を作成する。			
月別	実施予定の内容			
6 月				
7 月				
8 月	他大学における評価制度の調査			
9 月	学長・副学長会議で検討 事務職員の評価制度については、9 月 1 日から運用が開始されている。			
10 月				
11 月				
12 月				
1 月				
2 月				
	教育職員の評価制度については検討中である			
3 月	たたき台の案を提示（単独または複数） 自己評価、次年度計画立案			

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	9	テーマ	大学活性化のための継続可能な組織体制改革
責任者	豊田 長康	分担者	水谷 史生、村田 尚久、矢田 智樹
中期計画項目	4. 社会への説明責任		
本年度計画内容	①コンプライアンスに関する基本規定を見直すとともに、教職員一人一人の社会的責任、法令遵守に対する意識を向上させるための研修会等を更に充実（人事・厚生課）		
年度末到達目標	コンプライアンスに関する基本規定の見直しおよび機関決定。コンプライアンスに関する研究会を1回開催。		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月	当大学のコンプライアンスに関する基本規定の整理 規程については現在精査中。		
9 月	9 月 2 日防災講演会の開催		
10 月			
11 月			
12 月	修正案作成		
1 月	関係する会議において審議		
2 月	コンプライアンスに関する基本規程の見直し及び機関検討中		
3 月	3 月 2 日に教職員全体研修（ハラスメントについて）を開催した。 自己評価、次年度計画立案		

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	9	テーマ	大学活性化のための継続可能な組織体制改革
責任者	豊田 長康	分担者	村田 尚久、林 雅樹、今野 高行
中期計画項目	5. 危機管理体制の整備		
本年度計画内容	①防災避難訓練のあり方を見直し、臨場感のあるシナリオの作製等により、実効性の高い訓練に改善（学長、施設管理課、白子事務部）		
年度末到達目標	防災避難訓練の改善のための研究会の開催および、千代崎キャンパスに加えて、白子キャンパスにおいても防災避難訓練を実施。		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月			
9 月	防火防災講演会を開催し、訓練の改善についてアドバイスを得る。		
10 月	千代崎キャンパス防災避難訓練実施		
11 月	今回初めて白子キャンパスにおける防災避難訓練実施		
12 月	防災訓練事後評価会議の開催（従来は事務職員のための会議であったが、今回は関係する教員にも参加を促す。）		
1 月			
2 月			
3 月	自己評価、次年度計画立案		

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	9	テーマ	大学活性化のための継続可能な組織体制改革
責任者	豊田 長康	分担者	水谷 史生、村田 尚久、矢田 智樹
中期計画項目	5. 危機管理体制の整備		
本年度計画内容	②大学の危機管理体制全体について俯瞰し、整備が必要な危機項目について検討を開始（学長、法人事務局、大学事務局）		
年度末到達目標	当大学の危機管理体制で不十分な項目を洗い出し、検討が必要な危機管理項目を挙げ、少なくとも一つの項目についてマニュアルのたたき台を作る。		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月	当大学における危機管理に関するマニュアル類の調査、整理 他大学における危機管理に関するマニュアル類の調査		
9 月	当大学において検討が必要な危機管理項目の洗い出し。 現在規程の精査中であり、検討する段階には至っていない。年度末までに活動の目途がつかどうかは未定である。		
10 月	マニュアル類のたたき台の作成		
11 月			
12 月			
1 月			
2 月	マニュアル類のたたき台作成には至っていない		
3 月	自己評価、次年度計画立案		

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	10	テーマ	財政基盤の充実	
責任者	水谷 史生		分担者	岩田 善光
中期計画項目	1. 財政基盤の確保			
本年度計画内容	① 財政基盤充実の検証を行う			
年度末到達目標	財務分析・財務シミュレーションの完成			
月別	実施予定の内容			
6 月				
7 月				
8 月				
9 月				
10 月	5 年間の財務シミュレーション完成 (従来の手法に加えて、施設管理課の建物・電気・空調等の計画他を反映しており、より精度が高くなっている)			
11 月	⇒11 月～12 月で精査を実施する。			
12 月	※ 平成 27 年年内に完成 (財務分析・財務シミュレーション)			
1 月				
2 月	※ 完成した財務分析・財務シミュレーションを平成 28 年度予算編成に活用する 「活動計画重点分野 1:大学拡充計画の推進」で実施した教育環境改善調査では、事業の概算金額や導入時期の記載がない計画が多いため、H27 年度の財務シミュレーションには算入しない (H28 年度以降で導入を検討)			
3 月				

10

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	10	テーマ	財政基盤の充実
責任者	水谷 史生	分担者	岩田 善光
中期計画項目	1. 財政基盤の確保		
本年度計画内容	②会計処理の適正化を図る		
年度末到達目標	新会計基準の理解の深化及び新経理システムのオペレーション手順の確立		
月別	実施予定の内容		
6 月			
7 月			
8 月			
9 月			
10 月			
11 月			
12 月			
1 月			
2 月			
3 月			

* 活動計画項目ごとに作成をお願いします

OJT については消費税に関する内容で 4 半期を目途に PDCA サイクルを回す計画 OJT は実施しているが、内容が税務に関することなので、理解度はまだ浅い。今後も継続して実施する。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	10	テーマ	財政基盤の充実
責任者	水谷 史生	分担者	勝田 能成
中期計画項目	2. 外部資金の獲得		
本年度計画内容	①教育研究設備に関する補助金制度の積極的な活用を促進する		
年度末到達目標	大型投資が必要な案件に関して補助金の申請をする		
月別	実施予定の内容		
6 月	 現状で申請予定のもの ・私立大学等改革総合支援事業・・・白子キャンパス ICT 関係 A 講義棟関係 当年度は、白子キャンパス ICT 関係のみ補助金申請。総事業費 93,960 千円（補助対象事業経費 81,221,319 円 補助金希望額 40,610,000 円）		
7 月			
8 月			
9 月	補助金の提出締め切り ※補助金の種類によって締切日は異なる。また、文部科学省の補正予算による募集もあり得るため、実施予定は増える可能性がある。		
10 月	・ A 講義棟関係事業が、今回の補助対象の趣旨から外れていたため、応募せず。 ・ バリアフリー事業の補正予算募集も無し。		
11 月	・ 白子キャンパス ICT 関係は、内定通知待ち。（10 月 9 日 私学助成課より資料追加の連絡有り）		
12 月			
1 月	・ 補助金の追加募集があったため、バリアフリー事業と X 線一般撮影装置を申請した。 （千代崎・白子キャンパスのバリアフリー工事 総事業費 15,120,000 円 補助金希望額 5,608,000 円） （X 線一般撮影装置 総事業費 13,068,000 円 補助金希望額 6,534,000 円）		
2 月			
3 月			

10

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	10	テーマ	財政基盤の充実
責任者	水谷 史生	分担者	磯部 篤男
中期計画項目	2. 外部資金の獲得		
本年度計画内容	②教員等の研究活動に資するための財政基盤として、大学の教育シーズを基にした受託・共同研究費や寄付金を獲得する		
年度末到達目標	受託・共同研究費や寄付金を獲得し、研究活動を活発化させる		
月別	実施予定の内容		
6 月	上旬 シーズ集原稿募集開始 下旬 シーズ集原稿締切		
7 月	シーズ集データ作成		
8 月			
9 月	シーズ集印刷開始		
10 月	・鈴鹿医療科学大学全学シーズ集 2016 発行（シーズ集発行 2 回目）発行数 350 冊 シーズ集を送送する 主な送先(三重県ライフイノベーション課・ものづくり推進課・三重県産業支援センター・三重県農業研究所・鈴鹿商工会議所・三重銀総研・百五経済研究所・第三銀行・北伊勢上野信用金庫)		
11 月			
12 月			
1 月			
2 月	シーズ集送先への受託研究・共同研究見込み調査 （三重銀総研・第三銀行より研究依頼の連絡があった）		
3 月			

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画書

重点分野番号	10	テーマ	財政基盤の充実	
責任者	水谷 史生		分担者	経費削減推進委員会
中期計画項目	3. 経費削減の推進			
本年度計画内容	①費用対効果を考慮した経費削減活動を検討する			
年度末到達目標	経費削減への意識の定着化を目指す			
月別	実施予定の内容			
6 月				
7 月				
8 月				
9 月				
10 月				
11 月				
12 月				
1 月				
2 月				
3 月				

経費削減活動は、費用対効果を考慮しながら物品購入申請書や伺書決裁時に随時指導を行う。

都度、実施中。

*活動計画項目ごとに作成をお願いします。

平成 27 年度 活動計画

重点分野番号	10	テーマ	財政基盤の充実	
責任者	水谷 史生		分担者	経費削減推進委員会
中期計画項目	3. 経費削減の推進			
本年度計画内容	②全学的な経費削減活動の実現可能性を検討する			
年度末到達目標	平成 28 年度より全学的な経費削減活動をスタートできるようにする			
月別	実施予定の内容			
6 月	平成 27 年度			
7 月				
8 月	経費削減推進委員会を設置する 8 月 5 日 ; 学長・副学長・リエゾンオフィサーより意見聴取 8 月 26 日 ; 第 1 回経費削減推進委員会 (経費は事務局担当の為、委員会は事務局で構成し、 内容は、自己評価委員会で都度報告する)			
9 月	9 月 1 日 ; 運営協議会 (拡大版) にて、委員会立上の報告 & 協力の依頼 9 月 3 日 ; 学科長、課長他 削減方法の取り纏め依頼メール発信			
10 月				
11 月	経費削減推進委員会 ; 各科・課の削減方法の取り纏め & 推進方法検討			
12 月	第 2 回 経費削減推進委員会開催			
1 月	第 3 回 経費削減推進委員会開催			
2 月	第 4 回・第 5 回 経費削減推進委員会開催			
3 月	3 月 2 日 ; 経費削減についての教職員研修会開催 「エネルギー使用の現状と節電・省エネのポイント」講師 ; ㈱NTT ファシリティーズ東海 第 6 回 経費削減推進委員会開催 ⇒基本方針・ポスター作製完了 ⇒次年度スタートへ			

- ・過去の実績・推移の把握と検証 (例 : 電気代)
- ・経費削減取組項目についての検討
- ・節減方策についての検討